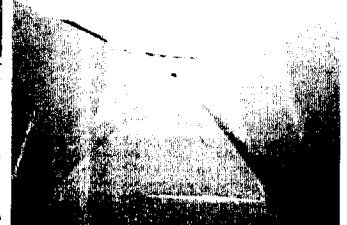
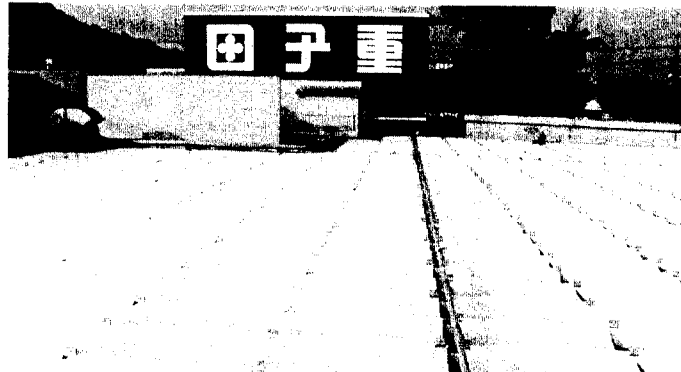


独自の施工法で金属屋根を遮熱！ ユニークなルーフ材を開発

浅原工業



シートの下に風の通り道をつくることで屋根の負担を減らしている

ウロコ状に張ったメッシュシートが太陽熱をカットする

浅原工業（島田市中河188-2、浅原克好社長）は、メッシュ素材のシートを特殊な留め金具で金属屋根の表面に張り詰めるだけで、遮熱効果が期待できるユニークなルーフ材、E.C.Oルーフ（E.C.O.）を開発した。

店舗や工場などの金属屋根は、日差しが強くなる夏には表面温度が70℃を

超えることもあるという。熱した空気は屋内に入り込むため、エアコンの消費電力はどうしてもかさんでしまう。特に、省エネの努力が求められている今夏は深刻な問題でもある。

新製品はそうした現状から生まれた、メッシュ素材を使った業界初の新しいルーフ材。帯状に長くカットしたメッシュシートを魚のウロコ状に施工することで、風が通りやすく、雨水が少しずつ流れ落ちるように工夫した。屋根に穴を開ける必要もなく、専用の留め金具もステンレス素材にして、サビを屋根に落とさないように配慮した。丸ハゼ型、角ハゼ型どちらの金属屋根にも1人で簡単に施工できる。工期も短く、例えば面積1000㎡の屋根ならば、3人がかり2日間

で施工できるといふ。現在、施工特許を申請中。

浅原社長は、軽さと耐久性だけでなく、屋根に優しい工法にもこだわった。電力関係者によれば遮熱すること、電気料金は15%、30%近くカットできるそうで、夏本番に向けて普及に力を入れていきたいと話している。お問い合わせ、0547-382902

多彩な注文処理に対応 「スーパースター」 話題の温浴施設、まねきの湯でも導入

スターランド

アミューズメント施設向けフロントPOSシステムを全国販売している株式会社スターランド（藤枝市青木3-14-1、樽井勉社長）は、カラオケ本舗 まねきの湯などを展開している株式会社まねきの湯（本社群馬県前橋市）が6月2日に首都圏でオープンした、東京健康ランド

まねきの湯に同社のPOSシステム「スーパースター」を導入した。まねきの湯は、昨年末から全国展開を開始、同社のPOSシステムを採用している。今月下旬にオープン予定の郡山湯処まねきの湯で国内6店舗目となる。

まねきの湯は、温泉と食事、各種リラクゼーション施設を備えた大型の温浴施設。セルフオーダーシステムによる効率的なオペレーションシステムを導入することで、わずらわしいフロント業務の省力化と注文の効率化を図る。



“東京健康ランド まねきの湯”披露レセプションの様子

者に渡すことで、館内の各施設や自販機などのキャッシュレス対応も可能にした。ちなみにシステム導入で、スタッフなどの人件費を3分の1程度にまで減らすことができるという。

温泉ブームを背景に、温浴施設はここも連日賑わいを見せているが、マンパワーに支えられている側面も強く、多くの施設が人件費の増大に悩んでいるのが実態。中でも最大のネックが飲食部門の経費削減。スーパースターで、効率経営をサポートしていきたい（樽井社長）と自信を見せている。

お問い合わせ、0546450707